帯域阻止フィルタ・1850–1915 MHz

DC–1835 MHzおよび1930–6000 MHzの両通過帯域で、挿入損失は2.5 dB以下です。2つのコネクタは筐体の同じ端面にあります。

RF 特性

項目	値
阻止帯域	1850–1915 MHz
阻止帯域減衰量	≥60 dB (1850–1915 MHz)
低域側通過帯域	DC–1835 MHz
高域側通過帯域	1930–6000 MHz
通過帯域挿入損失	≤2.5 dB (DC–1835 MHz / 1930–6000 MHz)
通過帯域 VSWR	≤1.8 (DC–1835 MHz / 1930–6000 MHz)

設計定格

項目	値
電力容量	150 W (設計保証)
動作温度	–10…+50 °C (設計保証)

代表測定値

項目	S12 (dB)	S11 VSWR
1750 MHz	-0.32	1.23
1835 MHz	-2.14	1.26
1840 MHz	-3.88	3.04
1845 MHz	-12.68	14.78
1850 MHz	-79.58	42.25
1856 MHz	-68.6	36.69
1865 MHz	-76.84	47.12
1880 MHz	-68.43	37.75
1895 MHz	-79.98	46.97
1907 MHz	-84.46	33.34
1915 MHz	-87.67	35.48
1920 MHz	-12.85	15.77
1925 MHz	-3.96	3.36

代表測定値

項目	S12 (dB)	S11 VSWR
1930 MHz	-2.2	1.31
2000 MHz	-0.38	1.12

機械・インターフェース仕様

項目	値
RF コネクタ	N-K
コネクタシェル材質	304 ステンレス鋼
RF インピーダンス	50 Ω
表面処理	黒色焼付塗装
本体長さ	300 mm
本体幅	72 mm
フランジ下面から筐体上面までの高さ	<55 mm
フランジ外縁間の長さ	320 mm
取付長穴の数	4
取付長穴の幅	4.5 mm
同一長穴の両端円弧の中心間距離	10 mm
長手方向の長穴中心間距離	310 mm
幅方向の長穴中心間距離	50 mm
コネクタ中心間距離	34 mm
側面図における筐体上端からRF軸までの距離	10 mm

取扱いと取付け

2つのRFコネクタは筐体の同じ端面にあります。 製品表面の清掃時に、製品を洗浄液へ浸漬しないでください。製品全体の温度が 125 °C を超える条件では、注文前に LCRF へご相談ください。

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。